

校長室だより

日本福祉大学付属高校 2013年11月1日

万人の福祉のために

真実と慈愛と献身を



学ぶ秋に 君の高校生活は充実していますか

中間試験はどうでしたか。結果に一喜一憂することなく、振り返りをすることが大切です。次の飛躍のために、自分の学習や生活がどうだったのか、自分で点検をしましょう。授業は集中して受けましたか。家では時間を決めて学習する習慣が定着していますか。ネットや携帯に多くの時間を費やしていませんか。夜更かししたり、帰宅が遅くなって生活が乱れていませんか。新聞を読んで社会の動きをつかむようにしていますか。振り返ってみて気がついた点はこれからの生活で改善していきましょう。

11月になりました。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋でもあります。とりわけ「学ぶ」秋にしてもらいたいものです。ここで言う「学ぶ」とは、学校の勉強だけでなく、社会に必要な知識や知恵も含めてのことを指しますが、学びは高校で終了するわけではありません。高校で学んだことを基礎にして、それからさらに深く学ぶ必要があるのです。よく学ぶことはよく生きることにつながると言えます。学ぶことは新しい世界の発見ですから本来楽しいはず。9日(土)には土曜講座があります。さらに「ジャンプある学び」を創造してもらいたいものです。「学ぶことをやめた人は誰でも老いている」(ヘンリー・フォード)

3年生の決意

*3年生全員に卒業に向けての決意を書いてもらいました。その中のいくつかを紹介します。

○クラスの核となって一生の思い出になるように行っていきたい。生活態度を見直して、社会人としての準備をしたいと思います。

○(自分は)進路が決まって安心しているが、受験がある人たちの邪魔にならないように、受験がある人たちのサポート役になっていこうと思っている。

○これまでの自分を振り返ってみると、自分はたくさん逃げてきたなと感じた。勉強でも、部活でも最後までやり遂げることをせずに途中で諦めてきた。・・・自分はこの先、辛いことも向き合っていけるようになりたい。「楽」と「楽しい」はかけ離れていると思う。何も努力しないで始めから楽を求めるのではなく、努力をしてからの楽を求められるような人間になりたい。

英文科に合格しました!

*大学の英文科に A0 入試で約3倍の競争率を突破して合格したAさん(国際英語コース)に合格の秘訣を聞きました。

Q)試験当日はどんなことを行ったのですか。

入試では小論文と面接とプレゼンテーションがありましたが、特に力を入れたのはプレゼンテーションです。日本語で行っても良かったのですが、先生のアドバイスもあり、英語で行いました。

Q)高校の授業で役に立ったことはどんなことですか。

2年ではでネイティブの先生の授業があったことや2ヶ月間のオーストラリア語学研修に参加したことで、失敗を恐れず英語を話せるようになりました。3年ではプレゼンの授業で校内だけでなく、校外で発表の機会を得ることができたことです。また、文化祭の舞台発表で主役を演じ、自分に積極性がついたことも大きな自信になりました。

保護者の皆様もご参加ください!

～公開土曜講座～

○11月9日(土)

○1限 9:20~10:30

2限 10:50~12:10

*詳細はチラシを生徒さんを通じて配布済みです。

今月の言葉

Live as if you were to die tomorrow.

Learn as if you were to live forever.

(Mahatma Gandhi)

明日死んでしまうかのように生きる

永遠に生きるかのように学べ (マハトマ・ガンジー)



留学生に聞きました

□4月から本校に留学している、タイ人留学生ラッチャワッタナ・ワッサモンさんにインタビューしました。

Q)日本での生活の様子を聞かせてください。

A)武豊町にホームステイしていますが、ホストファミリーも親切で楽しく過ごしています。友達もたくさんいるし、両親とはスカイプで週に1度やりとりしているので、ホームシックになることはありません。

日本の食べ物も好きです。特に刺身や牛丼が好きです。タイの家庭では刺身を食べません。夏休みは盆踊りに行きました。また最近ではユニバーサルスタジオに連れてってもらいました。

Q)日本語はどれだけわかるようになりましたか。

A) テレビのアニメやドラマは大体わかるようになりました。ニュースは難しい単語の意味が分からないのでわからない場合があります。

Q)高校の勉強はどうですか。

A) 英語や数学はだいたいわかりますが、日本語の問いがある場合はわかりにくいです。そのため毎日家で2時間くらい勉強して、理解できるようにしています。

Q)日本の高校生の印象やタイの教育事情は。

A)日本の高校生は普段はそうでもないけど、テスト週間になると一生懸命勉強していると思います。

タイ（バンコク）では小学校5年くらいから塾へ行きます。大学に進学する生徒も多いです。

Q)部活は何をしていますか。

A) 剣道部とバスケをやっています。3年生が引退して人数が少ないですが、楽しいです。

Q)剣道はどうしてやりたと思ったのですか。

A) タイでテレビを見ていて、カッコいいなと思ったからです。タイの高校にはないのであがれていました。

Q)将来の夢は何ですか。

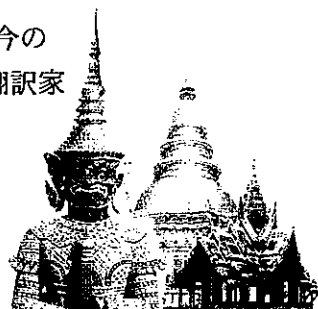
A) 小学校の先生になりたいという希望がありますが、先生はなかなか大変だし、今のところまだ自信がありません。日本のアニメやドラマはタイでも有名なので、翻訳家になりたいという気持ちもありますが、まだ未定です。

Q) 来年1月に帰国する予定ですが、その後は。

A)タイに帰ったら、高校2年生に進級する予定です。

Q)残り2ヶ月余りですが、日本での生活をエンジョイしてください。

A)ありがとうございました。



私学助成署名をお願いします

すでに提出していただいている方々もお見えますが、私学助成の増額を求める署名のお願いをさせていただきます。

「自分が私立に入学したため、妹が私立を選べない」「親に負担をかけて申し訳ない」

(私学に通う生徒の声)と、生徒諸君は私たち大人の想像以上に父母負担について心を痛めています。公私格差をなくし、生徒たちがお金の心配をしなくてもいいように一層の私学助成の拡充のために協力をお願いいたします。

* 詳細は別チラシを参照ください。最終提出は、
今月 29 日（金）です。

「・・・履歷書を書かせたときに名前と住所しか書けない生徒が多かった。資格や趣味などPRするものが書けない現実があった。「スポーツと書こう」と促しても部活もやっていないから書けない。「読書と書こう」と促しても実際に読んでいないから書けない。何か一つでも趣味として書けることがないかと考えた時、とにかく本を読ませた。LHRや自習の時間とにかく読ませた。その結果クラスの成績が上がった。勉強が苦手な生徒は本を読んでいないから文章が読めない。読むことに慣れたら成績が上がった。・・・」とのこと。なるほどいろいろ役に立つのですね。

「書物を読むということとは、他人が辛苦してなしとげたことを容易に自分に取り入れて、自己を改善する最良の方法である」(ソクラテス)

*本校の教員が、朝の読書を始めた先生の講演を聞く機会がありました。そのお話の一部です。

朝の読書は役に立つ！

